

2013年産カリフォルニア・プルーン収穫状況



春先の天候不順と夏場の高温の影響で大減産

2013年産カリフォルニア・プルーンは、例年より10日ほど早い8月上旬より収穫が始まり、8月末までにほぼ全ての収穫が終了します。6月初旬発表のCASS(カリフォルニア農業統計局)の予想では10万5,000ショートトン(以下ST)の収穫予想でしたが、2年連続の豊作で木が疲れている事や、2、3月の開花時に降水量が極端に少なかった状況、6～7月にかけて40℃を超える日が数日間続いた影響からか、最終的な収穫量は前年比46%減となる7万5,000STに下方修正されました。この収穫量は、大凶作だった2004年産の4万9,000STを除くと、1972年以来の不作となります。作付面積は年々減少しており、今期は2012年の5万5,000エーカーから92.7%の5万1,000エーカーとなり、エーカーあたりの収穫高は1.47STとなる見通しです(昨年は2.5ST/エーカー)。作付面積に関しては今後も明るい展望は見えず、2014年は4万5,000エーカーあたりまで落ち込むのではとの悲観的な意見が大方を占めています。

また、競合するチリ産も天候不順の影響からか2013年産の収穫量は5万トンと、前年の8万5,000トンから40%近く減産する予想となっています。この収穫状況を反映し、2013年産の価格は値上がり必至となっています。

カリフォルニア産プルーンの需給バランス

(単位:ショートトン)

収穫年/年度(8月期首～翌7月期末)	2011年	2012年	2013年(予想)
前年からの繰入	65,000※	56,000※	56,000※
収 穫 量	137,000	138,000	75,000
総 供 給 量	202,000	194,000	131,000
出 荷 量	138,700	132,000	135,000

※繰越数量は統計によって若干の相違があります